

公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和7年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
士別市	下水道事業	特定環境保全公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	

抜本的な改革の取組状況

取組事項

(下水道事業)広域化等

実施済

●

(実施類型)

汚水処理施設の統廃合

処理場廃止あり

処理場廃止なし

(取組の概要)

令和6年度から下水道事業を法適化するのにあわせ、会計システムを共同で導入した。

(実施(予定)時期)

令和5年4月3日

実施予定

公共下水・流域下水の統合

公共下水同士の統合

集落排水・公共下水との統合

特環下水と公共下水との統合

その他

汚泥処理の共同化

維持管理・事務の共同化

最適な汚水処理施設の選択(最適化)

●

(取組の効果額)

1.7 百万円(年)

(取組の効果額内訳)

会計システム導入費 年▲0.7  
システム使用料 年▲1.0  
計 年▲1.7

検討中

(取組の概要)

(検討状況・課題)

取組事項

民間活用(PPP/PFI方式の活用)

実施済

(取組の概要)

将来的な人材不足解消の施策として検討を行った。

(方式)

BTO方式		公共施設等運営権方式(コンセッション方式)	
BOT方式			
BOO方式		港湾運営会社制度	
DB方式			
DBO方式		その他	●

(導入・契約(予定)時期)

令和10年4月1日

実施予定

●

(取組の効果額)

百万円(年)

(取組の効果額内訳)

検討中

(取組の概要)

(検討状況・課題)